

2024 年度 IR 分析報告

2025 年 9 月

名古屋経営短期大学 IR センター

1. 選抜試験区分ごとの GPA と成績分布

1.1 2022 年度入学生（子ども学科のみ）の選抜試験区分ごとの GPA と成績分布

	人数(人)	GPAの平均	A (科目)	B (科目)	C (科目)	R (科目)	D (科目)	F (科目)	／ (科目)	修得科目数 の平均(科目)	修得科目数 の平均(科目)
学校推薦型選抜（指定校制）	21	2.356	43.0	26.0	12.4	0.0	0.2	0.3	0.2	81.4	82.0
学校推薦型選抜（クラブ制）	1	2.506	48.0	26.0	7.0	0.0	0.0	0.0	0.0	81.0	81.0
自己推薦型選抜	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総合型選抜	8	2.064	34.0	31.4	16.4	0.0	0.4	3.5	1.5	81.8	87.1
一般選抜	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
外国人学生入学試験	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大学入学共通テスト利用	1	2.717	73.0	24.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	99.0	99.0
職業訓練生募集入学試験	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
転学部・転学科試験	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全体	31	2.297	41.8	27.3	12.9	0.0	0.2	1.1	0.5	82.0	83.9

1.2 2023 年度入学生の選抜試験区分ごとの GPA と成績分布

	人数(人)	GPAの平均	S (科目)	A (科目)	B (科目)	C (科目)	R (科目)	D (科目)	F (科目)	／ (科目)	修得科目数 の平均(科目)	履修科目数 の平均(科目)
学校推薦型選抜（指定校制）	43	2.788	12.8	22.9	9.6	5.1	0.5	0.4	0.5	0.1	50.8	51.3
学校推薦型選抜（クラブ制）	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
自己推薦型選抜	1	2.571	1.0	35.0	15.0	5.0	2.0	0.0	0.0	0.0	58.0	56.0
総合型選抜	22	1.965	4.1	16.9	12.6	13.2	0.2	1.2	3.4	0.5	47.0	51.9
一般選抜	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
外国人学生入学試験	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大学入学共通テスト利用	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
職業訓練生募集入学試験	4	2.781	12.3	28.0	9.5	7.3	0.0	0.0	0.0	0.0	57.0	57.0
転学部・転学科試験	1	1.778	0.0	2.0	3.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.0	9.0
	71	2.515	9.7	21.2	10.5	7.7	0.4	0.6	1.4	0.2	49.5	51.3

1.3 2024 年度入学生の選抜試験区分ごとの GPA と成績分布

	人数(人)	GPAの平均	S (科目)	A (科目)	B (科目)	C (科目)	R (科目)	D (科目)	F (科目)	／ (科目)	修得科目数 の平均(科目)	履修科目数 の平均(科目)
学校推薦型選抜（指定校制）	50	2.589	5.1	12.3	5.7	4.0	0.2	0.4	0.5	0.0	27.3	28.0
学校推薦型選抜（クラブ制）	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
自己推薦型選抜	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総合型選抜	41	2.113	3.2	9.8	5.0	5.3	0.2	1.3	1.9	0.6	23.5	27.0
一般選抜	1	2.200	3.0	10.0	9.0	6.0	0.0	0.0	2.0	0.0	28.0	30.0
外国人学生入学試験	34	1.846	0.8	7.4	5.7	9.9	0.0	0.6	0.9	0.1	23.8	25.4
大学入学共通テスト利用	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
職業訓練生募集入学試験	3	3.078	8.3	17.0	2.3	1.3	0.0	0.0	0.3	0.0	29.0	29.3
転学部・転学科試験	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	129	2.250	3.4	10.3	5.4	5.9	0.2	0.7	1.1	0.2	25.2	27.0

1.4 学校推薦型選抜（指定校制）（以下、指定校推薦）と総合型選抜について

本学の主力である選抜試験区分である、指定校推薦と総合型選抜について、入学者の GPA の平均を比較したところ、3 学年すべて指定校推薦の方が高いという結果になった。1・2 年生では統計的にも有意差があった ($p<.001$)。

指定校推薦入学者は、総合型選抜入学者と比較して入学後の GPA が高く、上位評価 (S・A) の割合も高かった。一方、総合型選抜入学者では GPA のばらつきが大きく、低 GPA 層および不認定科目の割合も高かった。このことから、少なくとも入学後の学業成績という観点では、指定校推薦による選抜は一定の妥当性を有すると考えられる。一方、総合型選抜については、選抜方法または入学後支援のあり方を検討する余地がある。

1.5 外国人学生入学試験について

2024 年度に急増した外国人学生入学試験による入学生の GPA の平均は 1.846 であり、総合型選抜での入学者と比較しても低い値を示した。GPA2.0 未満が 58.8%と過半数を超える。しかし不認定科目の割合を見るとほかの学生に比べ、極端に高いというわけではない。単位は取れているものの、S・A が少なく、B・C などの評価に偏っている可能性が高い。これは入試制度の妥当性だけでなく、日本語能力に由来する授業理解不足が生じていることが示唆される。

2. 学科ごとの GPA と成績分布 GPA と成績分布

2.1 2022 年度入学生（子ども学科のみ）の選抜試験区分ごとの GPA と成績分布

	人数(人)	GPAの平均	A (科目)	B (科目)	C (科目)	R (科目)	D (科目)	F (科目)	／(科目)	修得科目数の平均(科目)	履修科目数の平均(科目)
子ども学科	31	2.297	41.8 49.8%	27.3 32.6%	12.9 15.4%	0.0 -	0.2 0.3%	1.1 1.3%	0.5 0.6%	82.0 97.8%	83.9 100.0%

2.2 2023 年度入学生の選抜試験区分ごとの GPA と成績分布

	人数(人)	GPAの平均	S (科目)	A (科目)	B (科目)	C (科目)	R (科目)	D (科目)	F (科目)	／(科目)	修得科目数の平均(科目)	履修科目数の平均(科目)
未来キャリア学科	37	2.606	9.6 21.6%	19.4 43.8%	8.8 19.9%	4.2 9.4%	0.5 -	0.5 1.0%	1.8 4.1%	0.1 0.2%	42.4 95.8%	44.2 100.0%
子ども学科	21	2.329	10.0 16.3%	20.7 33.7%	14.7 24.0%	13.7 22.3%	0.0 -	1.0 1.7%	0.9 1.4%	0.3 0.5%	59.0 96.3%	61.2 100.0%
介護福祉学科	13	2.612	9.8 17.8%	27.2 49.2%	8.6 15.6%	8.1 14.6%	0.6 -	0.5 0.8%	0.8 1.5%	0.2 0.4%	54.3 98.3%	55.2 100.0%
全体	71	2.515	9.7 19.0%	21.2 41.3%	10.5 20.5%	7.7 15.0%	0.4 -	0.6 1.2%	1.4 2.6%	0.2 0.4%	49.5 96.5%	51.3 100.0%

2.3 2024 年度入学生の選抜試験区分ごとの GPA と成績分布

	人数(人)	GPAの平均	S (科目)	A (科目)	B (科目)	C (科目)	R (科目)	D (科目)	F (科目)	／(科目)	修得科目数の平均(科目)	履修科目数の平均(科目)
未来キャリア学科	65	2.248	2.9 11.8%	9.8 39.7%	5.1 20.7%	4.6 18.8%	0.3 -	0.9 3.6%	1.2 5.0%	0.1 0.4%	22.6 92.2%	24.6 100.0%
子ども学科	30	2.231	3.8 11.9%	11.8 37.5%	7.3 23.2%	5.8 18.4%	0.0 -	0.9 2.7%	1.3 4.0%	0.7 2.2%	28.7 91.0%	31.5 100.0%
介護福祉学科	34	2.270	4.1 14.8%	10.0 35.8%	4.4 15.8%	8.5 30.5%	0.0 -	0.3 1.1%	0.6 2.0%	0.0 0.0%	27.0 96.9%	27.9 100.0%
全体	129	2.250	3.4 12.6%	10.3 38.1%	5.4 20.0%	5.9 21.9%	0.2 -	0.7 2.7%	1.1 3.9%	0.2 0.8%	25.2 93.2%	27.0 100.0%

2.4 学科間の GPA 格差について

2 年生（2023 年度入学生）の GPA の平均を見ると、未来キャリア学科 2.606、介護福祉学科 2.613 に対し、子ども学科 2.329 とやや低いですが、差は 0.1 未満であり、統計的に優位な差ではなかった（ $p=.398$ ）。1 年生（2024 年度入学生）の GPA の平均の差はさらに小さく、有意差は認められなかった（ $p=.981$ ）。

ただし、成績の分布をみると、未来キャリア学科は C 評価が少ない一方、F 評価が最も多い。つまり、単位認定を受けている学生は比較的上位だが、一部学生に F が集中していることが考えられる。これらは、資格認定のための必修科目が多い他の 2 学科とは異なる傾向を有していることを示す。

3. 今後の課題

本分析では、2024 年度秋学期終了時点の成績データを用いて、入学者選抜区分および学科別の GPA・成績分布等について検討した。一方、学事システムとして UNIPA が導入されたことに伴い、過年度データと現在のデータでは形式や管理方法が異なっており、十分なデータの整理・統合がなされていないという問題も露呈した。継続的な IR 実施のためには、分析に用いる指標とデータ形式を可能な限り統一し、年度を越えて比較可能なデータを蓄積していく必要がある。

そのため、平均 GPA、GPA の標準偏差、低 GPA 者の割合、成績評価分布、単位不認定率等の主要な KPI を設定することが望まれる。これにより、単年度の特徴だけでなく、複数年度にわたる傾向や変化を把握し、入学者選抜や教育・学生支援の改善につなげることが可能になる。

また、本学には各入学者選抜における評価データが蓄積されていることから、今後はこれらの入学時の評価データと入学後の学修成果を接続した縦断的分析を進める必要がある。具体的には、入試時の評価と、入学後 1 年次、2 年次、3 年次の GPA、成績分布、修得単位数等との関連を継続的に追跡することで、各入学者選抜が入学後の学修成果をどの程度予測しているのかを検証することができる。

以上